

みずほCustomer Desk Report 2022/10/06号 (As of 2022/10/05)

市場営業部 為替営業第一チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	143.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	143.85	0.9984	143.54	1.1449	0.6514
SYD-NY High	144.85	0.9995	144.02	1.1493	0.6525
SYD-NY Low	143.53	0.9835	142.46	1.1230	0.6417
NY 5:00 PM	144.69	0.9886	142.90	1.1319	0.6491
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,273.87	▲ 42.45	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0100%
NASDAQ	10,815.43	239.81	日本10年債	0.2400%	0.0100%
S&P	3,783.28	▲ 7.65	米国2年債	4.1451%	0.0494%
日経平均	27,120.53	128.32	米国5年債	3.9637%	0.1106%
TOPIX	1,912.92	6.03	米国10年債	3.7538%	0.1209%
シカゴ日経先物	27,035.00	▲ 145.00	独10年債	2.0155%	0.1385%
ロンドンFT	7,052.62	▲ 33.84	英10年債	4.0340%	0.1810%
DAX	12,517.18	▲ 153.30	豪10年債	3.6550%	▲0.0610%
ハンセン指数	18,087.97	1,008.46	USDJPY 1M Vol	11.63%	0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.38%	0.10%
NY金	1,720.80	▲ 9.70	USDJPY 6M Vol	11.24%	0.07%
WTI	87.76	1.24	USDJPY 1M 25RR	▲1.56%	Yen Call Over
CRB指数	281.89	1.46	EURJPY 3M Vol	12.95%	0.15%
ドルインデックス	110.07	0.00	EURJPY 6M Vol	12.95%	0.16%

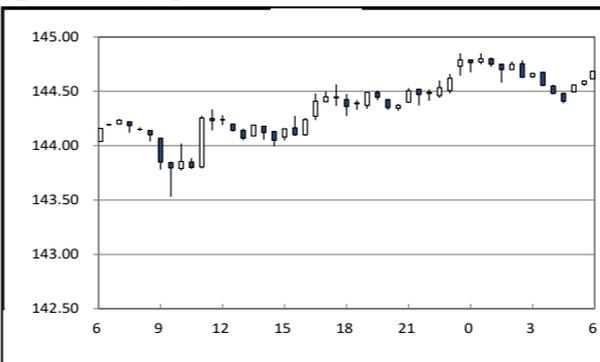
【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
10月5日	21:15	米	ADP雇用統計	9月 208K	200K
	21:30	米	貿易収支	8月 -\$67.4B	-\$67.7B
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	9月 56.7	56.0

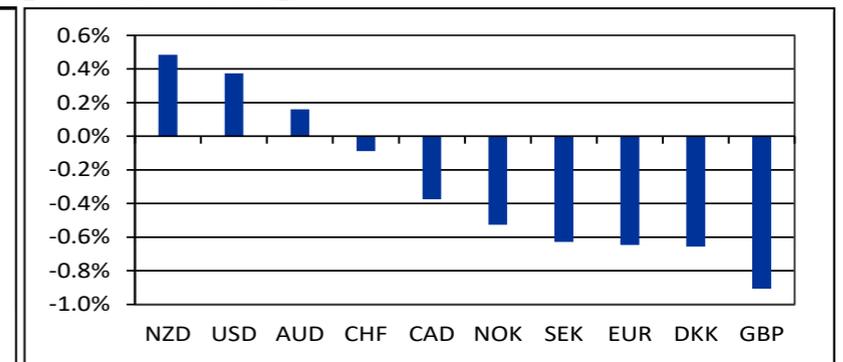
【本日の予定】

Date	Time	独	欧	米	Event	予想	前回
10月6日	15:00	独			製造業受注(前月比)	8月 -0.7%	-1.1%
	18:00	欧			小売売上高(前月比)	8月 -0.3%	0.3%
	21:30	米			新規失業保険申請件数	1-Oct 204K	193K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	0.9750-1.0000	142.00-144.00

【マーケット・インプレッション】

昨晩の海外市場では、ドル/円はドル買が優勢となり144円台後半まで上昇した。米9月・ADP雇用統計や米9月・ISM非製造業景況指数が予想を上回る結果となったことなどを受けてドルが買われた。また、サンフランシスコ連銀総裁が利上げに前向きな姿勢を示したことも好感された。本日のドル/円も堅調な推移を予想。但し、水準が前回介入時に迫って来ている為、警戒感が強く145円付近では押し戻されやすい可能性もある。また、明日に米9月・雇用統計の発表があるので相場は様子見ムードになりやすいか。

東京	東京時間のドル円は143.85レベルでオープン後、特段材料がない中、143.53まで下落。売り一巡後、仲値にかけては144円近辺まで上昇したものの長続きせず、143円台後半まで再び下落。その後は、ドル買い優勢の流れとなり、144.33を付けた後は上値重く推移し、144.10レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.10レベルでオープン。本日は英国債が売られて始まったこともあり全般にドル買いムード。ドル円は一時144.56まで上昇し144.52レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	144.52レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP雇用統計が発表されるが、予想範囲内の結果で市場は反応薄。その後、米金利上昇を眺めながらドル買いが強まり、米9月ISM非製造業景況指数が強まったことからサポート材料となり、144.85まで上昇する。しかし、米金利上昇の一服とともにドル円の上昇も失速し、その後はじりじりと下落。午後は144.39まで下押しするが、終盤は買い戻し優勢となり、結局、144.69レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドル0.99レベル後半でスタート。前日付けることが出来なかったパリティ(1.0000)レベル回復を試す動きも見られたが、上値は0.9995に留まり、その後は見切り売りが強まり、0.9905レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、0.9835まで売られたが、米金利上昇の一服とともにじり高推移に転じた。終盤には 0.9900手前まで値を戻し、結局、0.9886レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・鈴木